

平成 19 年 度

事 業 報 告 書

平成 20 年 3 月

財団法人 徳川黎明会
総務部
徳川美術館
徳川林政史研究所

総務部

I. 事業事項

〔I〕 調査研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
1. 尾張徳川家の婚姻について	総務部長・学芸員 近松 真知子	昭和 62 年
2. 尾張徳川家系図の調査研究	〃 〃	63 年
3. 中世・近世初期の「漢画」の研究	非常勤学芸員 林 里絵	平成 11 年
4. 徳川義親に関する調査研究	〃 〃	19 年
5. 江戸時代の国学興隆が絵画製作に及ぼした影響について	〃 鎌田 純子	19 年
6. 川面版 源氏物語絵巻の研究	〃 林 里絵・鎌田純子	19 年

〔II〕 研究発表

1. 金鯪叢書 第35輯

(1) 賢聖障子の研究

鎌田 純子

2. 講演等

徳川 義崇

演 目	主 催	会 場	年月日
尾張徳川家と徳川美術館	徳川美術館 土曜講座	徳川美術館	平成19年 4月21日
尾張徳川家と徳川美術館	名古屋大学 社会学同窓会	ナゴヤキャッスル ホテル	〃 5月27日
徳川美術館設立の背景	Y P O 京都社長大学	徳川美術館	〃 9月23日
加賀前田家と尾張徳川家 (東海北陸伝統工芸祭 トークステージ)	東海北陸伝統的工芸品 産業振興協議会 等	金沢城公園	〃 10月 6日

演 目	主 催	会 場	年月日
近年の尾張徳川家	浄土宗寺庭婦人会	徳川美術館	〃 10月24日
徳川美術館設立の背景	(名古屋ホテルマン対象)	徳川美術館	平成19年11月 1日
尾張徳川家による 源氏物語絵巻保存・公開への取り組み	葵美術グループ	名古屋市女性会館	〃 11月12日
尾張徳川家による 源氏物語絵巻保存・公開への取り組み	五月会	徳川美術館	〃 11月16日
尾張徳川家と徳川美術館	名古屋中小企業振興会 経営者フォーラム	徳川美術館	〃 12月 6日

〔Ⅲ〕 図 書 編 纂

1. 金鯨叢書 第35輯

徳川 義崇・近松真知子

〔Ⅳ〕 所 蔵 品 出 陳 (他館主催展覧会)

	出 陳 先	展 覧 会 名 称	期 間	出 陳 品
1	徳川美術館名品展 実行委員会 (富山県水墨美術館) (北日本放送)	北日本放送開局55周年記念 「徳川家の姫君 一華麗なる世界」 徳川美術館名品展	H19. 4. 6～ 5.13	国宝 初音蒔絵櫛箱 靈仙院千代姫所用 一具 他113点
2	奈良国立博物館	特別展 「神仏習合 一〈かみ〉と〈ほとけ〉が 織りなす信仰と美一」	H19. 4. 7～ 5.27	重要文化財 石清水八幡遷座縁起絵 一幅
3	サンリツ服部 美術館	よみがえる源氏物語絵巻 一平成復元絵巻のすべて一	H19. 6. 7～ 7.22	源氏物語絵巻 (平成復元模写) 他

	出陳先	展覧会名称	期間	出陳品
4	島根県立古代出雲 歴史博物館	特別展 「輝きふたたび 石見銀山展」	H19. 7. 14～ 9. 24	徳川家康画像 徳川義直筆 一幅
5	東京国立博物館 日本経済新聞社	足利義満六百年御忌記念 「京都五山 禅の文化」	H19. 7. 31～ 9. 9	重要文化財 寒山拾得図 天游松谿筆 一幅 他1点
6	奈良国立博物館	特別展 「美麗 院政期の絵画」	H19. 9. 1～ 9. 30	重要文化財 天皇撰関御影 上巻 二巻のうち一巻
7	茨城県陶芸美術館 中日新聞社	「人間国宝 荒川豊藏」	H19. 9. 8～11. 4	志野茶碗 銘 玉川 一口
8	和泉市久保惣記念 美術館	特別展 「伊勢物語 一 雅と恋のかたち 一」	H19. 10. 6～11. 25	八橋蒔絵提重 一具 他7点
9	茶道資料館	元伯宗旦三百五十年忌記念 秋季特別展 「千 宗旦展」	H19. 10. 7～12. 19	竹茶杓 銘 二人静 千 宗旦 作 一對
10	東京国立博物館	大徳川展	H19. 10. 10～12. 2	国宝 源氏物語絵巻 柏木一 詞二面 絵一面 他76点
11	熊本県立美術館	「熊本城築城400年記念 激動の三代 一 加藤清正・ 忠広・細川忠敏の時代一」	H19. 10. 12～11. 25	塵躰和歌集 加藤忠広筆 一冊 他3点
12	犬山城白帝文庫	特別展 「犬山城拝領390年 一 拝領と献上 一」	H19. 10. 20～11. 28	溜塗四方盆 (松の木盆) 一枚
13	五島美術館 細見美術館 日本経済新聞社	特別展 「芦屋釜の名品」	五島美術館 H19. 10. 27～12. 2 細見美術館 H20. 1. 2～ 2. 11	古芦屋姥口霰釜 一口
14	佐野美術館 林原美術館	「華やかな日本刀 備前一文字」	佐野美術館 H19. 11. 10～12. 17 林原美術館 H20. 2. 23～ 3. 30	重要文化財 刀 無銘助真 一口 他5点
15	岡山県立美術館 山陽新聞社	「人間国宝 荒川豊藏」	H20. 1. 16～ 2. 24	志野茶碗 銘 玉川 一口

	出陳先	展覧会名称	期間	出陳品
16	茨城県立歴史館	特別展 「御三卿 一橋徳川家」	H20. 2. 9～ 3. 23	壺猫睡戯図 二幅対 一橋家伝来
17	浦添市美術館	特別展 「琉球漆器名品展」	H20. 2. 15～ 3. 16	重要文化財 花鳥七宝繫文密陀絵沈金 御供飯 一具 ほか6点
18	名古屋市博物館	特別展 「茶人のまなざし 一森川如春庵の世界」	H20. 3. 1～ 4. 13	三傑会々記 (昭和十一年) 一綴 (備品) ほか備品3点

〔V〕住宅賃貸

1. 外国人向け住宅6棟の賃貸 (収益事業)

II. 処務事項

1. 役員に関する事項

(平成20年3月31日現在)

役名	氏名	就任年月日	担当事務	職 業	最初就任年月
理事	徳川 義崇	平成18. 5. 30	会 長	八雲産業(株)社長 徳川美術館 館長	平成 5. 5
〃	近松真知子	〃	専務理事	(財) 徳川黎明会 総務部長	〃 18. 5
〃	竹内 誠	〃	常務理事	東京学芸大学名誉教授 徳川林政史研究所 所長	〃 13. 5
〃	徳川 斉正	〃		(財)水府明德会会長	〃 13. 5
〃	中田 易直	〃		中央大学名誉教授	〃 14. 11
〃	近藤 道生	〃		(株) 博報堂最高顧問	〃 14. 11
〃	前田 利祐	〃		(社) 霞会館理事	〃 18. 5
監事	田中 秀隆	〃		(財)三徳庵専務理事	〃 5. 5
〃	竹田 憲央	〃		中央化学(株) 国際本部長	〃 17. 3
〃	松平 頼武	〃		(学) 本郷学園理事長	〃 13. 5
評議員	麻生 太郎	〃		衆議院議員	〃 4. 2
〃	太田 宏次	〃		(財) 東洋医学研究財団 理事長	〃 16. 5
〃	海部 俊樹	〃		衆議院議員	平成 4. 1
〃	加戸 守行	〃		愛媛県知事	〃 7. 5
〃	小林 喬	〃		富国生命保険(相)相談役	昭和59. 12
〃	里中 哲朗	〃			平成 9. 3
〃	佐藤 豊三	〃		徳川美術館専門参与	〃 18. 5
〃	佐野文一郎	〃		(社)日本工芸会 理事長	〃 13. 5
〃	徳川 義真	〃			〃 10. 5
〃	中村 誠治	〃		(株) 北芝建設相談役	〃 17. 3
〃	西崎 清久	〃		(学) 共立女子学園 常務理事	〃 13. 5
〃	原 俊夫	〃		(財)アルカンシエール 美術財団 理事長	昭和 53. 12
〃	濱本 英輔	〃		(株) ロッテ顧問	平成 13. 5

役名	氏名	就任年月日	担当事務	職業	最初就任年月
評議員	林 董一	平成18. 5. 30		愛知学院大学名誉教授	平成 1. 10
〃	久富 修	〃			〃 5. 5
〃	深井 雅海	〃		国学院大学 栃木短大教授 徳川林政史研究所副所長	〃 9. 4
〃	松平 恒忠	〃		日本英語交流連盟 専務理事	平成13. 5
〃	松平 保定	〃		(社福) 子供の町 会長	昭和52. 10
〃	深山 明敏	〃		(財) 偕行社 理事	平成 9. 3
〃	山本 泰一	〃		徳川美術館 名誉副館長 ・上席参与	〃 5. 5
合 計		30名			

2. 職員に関する事項

(1) 総 務 部

(平成20年3月31日現在)

職名	職階	氏名	就任年月日	担任業務	
総務部	部長	専務理事	近松真知子	昭和61. 3. 20	総務・学芸関係事項総括
	課長・秘長室長 (庶務担当)	主事補	神田 映子	平成 2. 9. 10	総務・学芸関係事項 林政史 保管写真管理 役員秘書業務
	課長 (会計・経理担当)	〃	田中 博之	〃 9. 6. 1	経理・会計事項
		嘱託	宮 裕美	〃 8. 11. 5	美術館保管写真管理
合 計		4 名	他に非常勤嘱託 7名 (うち1名 非常勤学芸員兼任)		

(2) 徳川美術館

(平成20年3月31日現在)

職名	職階	氏名	就任年月日	担任業務	
館長	会長	徳川 義崇	平成17. 12. 1	館務総括	
副館長	参事補	四辻 秀紀	昭和58. 2. 15	館長補佐	
名誉副館長 上席参与 (涉外担当)	囑託	山本 泰一	平成19. 12. 4		
学芸部	部長	参事補	四辻 秀紀	昭和58. 2. 15	学芸関係事項統括
	係長	書記	吉川 美穂	平成 5. 4. 1	学芸事項
		〃	並木 昌史	〃 7. 4. 1	〃
		〃	原 史彦	〃 19. 4. 1	〃
	専門参与	囑託	佐藤 豊三	〃 18. 9. 28	〃
企画情報部	部長	主事	小池 富雄	昭和53. 2. 8	企画情報関係事項統括
	課長 (教育普及担当)	主事補	加藤 啓子	〃 58. 4. 1	企画情報事項
		書記	龍澤 彩	平成13. 4. 9	〃
		〃	志賀 太郎	〃 16. 9. 1	〃
		〃	下畑いつこ	〃 19. 10. 1	〃
業務部	部長	囑託	寺島 一夫	平成19. 4. 11	庶務・管理関係事項統括
	課長 (管理担当)	主事補	野村 弘和	昭和63. 3. 1	管理事項
		〃	長谷 峰生	〃 63. 3. 1	庶務・経理・会計事項
	課長 (庶務担当)	書記	長沼 英樹	〃 12. 4. 1	営繕事項
			大田 智恵	平成 1. 7. 1	庶務及び会計事項
		〃	小塚 愛弓	〃 18. 4. 1	庶務事項
			補手	間瀬田 憲次	〃 15. 12. 9
	〃	〃	間瀬田 加代	〃	〃
合計		20名	他に非常勤研究員 11名(うち1名 役員兼任)		

(3) 徳川林政史研究所

(平成20年3月31日現在)

職 名	職 階	氏 名	就任年月日	担 任 業 務
所 長	常務理事	竹内 誠	平成10.10. 1	所務総括
副 所 長	参事補	深井 雅海	平成11. 4. 1	所長補佐並びに研究・補助金 交付事項
主任研究員	主事補	太田 尚宏	〃 11. 4. 1	研究及び蔵書目録編纂事項
研 究 員	書 記	白根 孝胤	〃 15. 4. 1	〃
係 長	〃	鶴岡 香織	〃 11. 4. 1	林政史研究所庶務
合 計		5 名	他に非常勤研究員 14 名 非常勤研究生 17 名	

(4) 職員総計

総 計	29 名	他に非常勤嘱託 7 名 (うち1名 非常勤学芸員兼任) 非常勤研究員 25 名 (うち1名 役員兼任) 非常勤研究生 17 名
-----	------	---

なお上記のほか、部外の業務・研究協力者を参与に委嘱している。この人員は美術館2名・林政史研究所6名となっている。

3. 役員会に関する事項

(1) 理 事 会

第1回

- 開 催 平成19年5月30日 午前11時 当会に於いて
- 議 事 1. 平成18年度事業報告の件
2. 平成18年度収支決算報告並びに監査報告の件
- 結 果 1・2. 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため、両議案とも原案の通り承認可決された。

第2回

- 開 催 平成19年8月1日（郵送審議）
- 議 事 財団法人徳川黎明会規程改訂の件
- 結 果 上席参与の新設のため、また美術館名誉館長・副館長・林政史研究所名誉所長・副所長を規定上でも条文化したいとの提議があり、審議の結果一同異議なく原案通り承認可決された。

第3回

- 開 催 平成20年3月28日 午後5時 東京都千代田区霞ヶ関3丁目2番5号霞ヶ関ビル34階
霞会館に於いて
- 議 事 1. 平成19年度収支更正予算案審議の件
2. 平成20年度事業計画及び同収支予算案審議の件
3. 規程改訂の件
- 結 果 1・2. 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため原案の通り承認可決された。
3. 特任研究員を新設することに伴い財団法人徳川黎明会規程の改訂を行いたいとの提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため原案の通り承認可決された。

(2)評 議 員 会

第1回

- 開 催 平成19年5月30日 午前11時30分 当会に於いて
- 議 事 1. 平成18年度事業報告の件
2. 平成18年度収支決算報告並びに監査報告の件
- 結 果 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため、両議案とも原案の通り承認可決された。

第2回

- 開 催 平成20年3月28日 午後4時 東京都千代田区霞ヶ関3丁目2番5号霞ヶ関ビル34階
霞会館に於いて
- 議 事 1. 平成19年度収支更正予算案審議の件
2. 平成20年度事業計画及び同収支予算案審議の件
- 結 果 1・2. 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため原案の通り承認可決された。

4. 監査に関する事項

平成18年度収支決算監査が、平成19年5月28日当会に於いて行われ、その結果適法正確と認められた。

5. 寄附金に関する事項

平成19年2月9日、通算9回目の特定公益増進法人の認定を受けた。

これに基づき平成21年2月8日を目処に総額25,000千円として募金活動を開始したところ、大方の理解と協力を得て、平成19年3月31日現在 法人28件（45.5口）、個人263件（1,027.1口）合計14,821千円が寄せられている。

徳川美術館

I. 事業事項

(a) 学芸関係

[I] 調査研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
1. 館藏品悉皆調査	学 芸 部 共 同	昭和63年
2. 尾張徳川家関係寺社藏品調査	〃 〃	〃 58年
3. 徳川美術館蔵仏画の調査研究	名誉副館長 山本泰一	〃 49年
4. 請来仏画の研究	〃 〃	〃 56年
5. 『君台観左右帳記』の研究	学芸部・専門参与 佐藤豊三	〃 58年
6. 茶の湯の名物道具について(名物論) －『玩貨名物記』を中心にして－	〃 〃	〃 63年
7. 戸山屋敷御成について	〃 〃	平成 3年
8. 近世名古屋城下における文芸活動 －尾張藩士を中心に－	企画情報部長・学芸員 小池富雄	昭和57年
9. 幸阿弥派蒔絵の研究	〃 〃	平成元年
10. 古代・中世の料紙装飾の系譜	副館長・学芸部長 四辻秀紀	昭和60年
11. 歌絵・物語絵の研究	〃 〃	平成 3年
12. 近世絵画の研究	学芸部係長・学芸員 吉川美穂	〃 6年
13. 尾張を中心とする画家の活動について	〃 〃	〃 11年
14. 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について	学芸員 並木昌史	〃 8年
15. 有職装束の研究	〃 〃	〃 8年
16. 中近世やまと絵の研究	〃 龍澤 彩	〃 13年
17. 館蔵朝鮮陶磁の調査研究	〃 〃	〃 16年
18. 中国絵画とその影響を受けた日本中近世絵画の研究	〃 志賀太郎	〃 16年
19. 徳川将軍家と尾張家の研究	〃 原 史彦	〃 19年

[Ⅱ] 研究発表

1. 金鯨叢書 第35輯

- (1) 石山寺蒔絵源氏物語書物筆筭(根津美術館・重要美術品)について 小池富雄
(2) 小サ刀考 佐藤豊三
(3) 秀吉茶会における信長継承戦略
-『天王寺屋茶会記』の「茶堂」を手がかりに- 非常勤研究員 田中秀隆
(4) 庭訓往来天理図書館宝徳三年本(1) -影印・番羽刻・異同- " 小木曾千代子

2. 尾陽 第四号

3. 特別展図録(部内)

(1) 春季特別展「尾張の殿様物語」

・尾張の殿様 早わかり・各章本文・コラム・資料編

総務部 近松真知子

徳川林政史研究所 深井雅海・太田尚宏・白根孝胤・渋谷葉子・田原 昇・藤田英昭・上野 恵

徳川美術館 山本泰一・四辻秀紀・佐藤豊三・小池富雄・吉川美穂・並木昌史・龍澤 彩
志賀太郎

(2) 新館開館20周年記念 秋季特別展「王朝美の精華・石山切」

・王朝美の精華・石山切 四辻秀紀

・図版解説 四辻秀紀・吉川美穂・龍澤 彩

4. その他雑誌・刊行物

- (1) 「天下取りへの道 戦国の武将たち」展 (中日新聞 一点解説) 並木昌史
(2) 「王朝美の精華・石山切」展 (") 四辻秀紀
(3) 「よみがえる源氏物語絵巻」展 (") "

5. 定期研究発表会

	(内 容)	(年月日)	
第51回	尾張徳川家蔵帳にみる唐物染付の分類名称	19. 6. 30	佐藤豊三
第52回	徳川将軍家の装束資料遺品について	20. 2. 9	並木昌史

6. 土曜講座「大名の生活と文化」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
尾張徳川家と徳川美術館	19. 4. 21	徳川義崇
歴代の殿様と大名道具の由緒	5. 19	志賀太郎
美術工芸品にみる「水」のデザイン	6. 23	龍澤 彩
尾張徳川家の菩提寺 相応寺	7. 7	小池富雄
歴史を動かした戦い「長篠の合戦」	7. 28	並木昌史
徳川美術館と文化財修復	9. 15	吉川美穂
本願寺本三十六人家集と石山切	10. 13	四辻秀紀
国宝 源氏物語絵巻復元模写から得られたこと	11. 17	〃
千利休 泪の茶杓について	20. 2. 23	山本泰一
秀吉側近としての利休	3. 8	大日本茶道学会副会長 田中仙堂氏

7. 夏期講座「大名家の茶の湯」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
本願寺本三十六人家集の伝来と石山切	19. 8. 21	四辻秀紀
三十六人集の成立と古写本	〃	関西大学 文学部 教授 田中 登氏
本願寺本三十六人家集の書風	8. 22	東京国立博物館文化財部長 島谷弘幸氏
料紙装飾の特質	〃	四辻秀紀
見学会(陽明文庫、西本願寺)	8. 23	

8. 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
十一代将軍家斉とその時代	19. 6. 23	竹内 誠
将軍家斉の官位昇進儀礼	6. 30	深井雅海
尾張家の代替わりと押し付け養子(一)	7. 7	白根孝胤
〃 (二)	7. 14	〃
将軍の鯛と御用魚問屋(一)	7. 21	太田尚宏
〃 (二)	7. 28	〃

9. 能楽講座「尾張徳川家の能」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
小町物にみる小町	19. 4. 7	歌人 馬場あき子氏
観世流「通小町」面と装束と謡	5. 12	観世流シテ方 観世喜正氏
宝生流「通小町」面と装束と謡	6. 9	宝生流シテ方 辰巳満次郎氏
通小町の音楽	8. 11	藤田流笛方 藤田六郎兵衛氏

10. 講演会

(演 目)	(年月日)	(講 師)
(1) 尾張の名君を語る－義直・宗春・慶勝を中心に－	19. 4. 14	徳川林政史研究所所長・江戸東京博物館館長 竹内 誠
(2) 田中親美と石山切	10. 6	料紙作家 福田行雄氏

11. 部外出講

(主催者)	(演 目)	(期 間)	(担 当)
(1) 愛知淑徳大学	美術史	後期	四辻秀紀
(2) 南山大学	日本美術史	前期	〃
(3) 大東文化大学	文学研究科書道学専攻	集中	〃
(4) 名古屋造形芸術大学	東洋美術史特講A・B	通年	山本泰一
(5) 東海学園大学	日本文化特論A	集中	〃
(6) 名古屋芸術大学	博物館学各論	通年	佐藤豊三
(7) 愛知県立芸術大学	博物館概論	前期	〃
(8) 中京女子大学	博物館学実習	〃	〃
(9) 名古屋外語大学	文化 I	前期	小池富雄
(10) 南山大学	博物館学Ⅲ	後期	〃
(11) 名古屋芸術大学	博物館実習 I・II	集中	吉川美穂
(12) 椋山女学園大学	博物館実習	〃	〃
(13) 愛知県立大学	日本美術史	後期	龍澤 彩
(14) 愛知大学車道校舎	春季オープンカレッジ教養講座「尾張徳川家の大名道具と生活文化」	4. 25, 5. 9, 5. 16, 5. 23, 6. 6, 6. 13, 6. 27, 7. 4	山本泰一・小池富雄・吉川美穂・並木昌史・龍澤彩・志賀太郎
(15) 中京大学	オープンカレッジ講座「徳川美術館の名宝～日本文化の真髄～」	4. 18, 4. 25, 5. 9, 5. 16, 5. 23, 6. 6, 6. 13, 6. 20, 6. 27, 7. 4, 7. 11, 7. 25	山本泰一・小池富雄・吉川美穂・並木昌史・龍澤彩・志賀太郎
(16) 栄中日文化センター	かな古筆の名品を訪ねて3	4月～9月 (月1回)	四辻秀紀
(17) 〃	〃	4 10月～20年3月(〃)	〃
(18) ちりゅう芸術創造協会	パティオ池鯉鮒シアターカレッジ講師	5. 9, 5. 23	志賀太郎
(19) 岡崎市美術博物館	茶の美術展講演会講師	6. 24	小池富雄
(20) 桑名市教育委員会	くわな市民大学講師	9. 15, 11. 17	〃

(21)	栄中日文化センター	江戸開府550年記念講座	10. 8, 11. 12	原 史彦
(22)	犬山学術文化交流センター	第6回犬山シンポジウム	10. 21	佐藤豊三
(23)	鹿島美術財団	源氏物語 再発見	11. 30	四辻秀紀
(24)	名古屋市高年大学鯉城学園	郷土史研究クラブ講座講師	12. 4	小池富雄
(25)	玉手山安福寺	珂憶上人300回遠忌講演会	12. 23	〃
(26)	岡山県立博物館	高松松平家の名宝	20. 1. 13	四辻秀紀
(27)	愛知県博物館協会	部門別研修会	2. 7	加藤啓子
(28)	東区文化のみちガイドボランティアの会	講演会	2. 15	小池富雄
(29)	浦添市美術館	琉球漆芸会議講演会	2. 16	〃
(30)	日本博物館協会	パネルディスカッション	2. 25	山本泰一
(31)	土岐市美濃陶磁歴史館	暮雪庵茶会記念講演会	3. 1	佐藤豊三
(32)	東区制100周年記念事業実行委員会	連続講演会	3. 25	小池富雄

1 2. 復元製作

- ・薄水色地梅花文麻浴衣(染技連製作/第1回・第2回徳川美術館拡充整備基金)

1 3. 国宝「源氏物語絵巻」現状摸写製作指導(東京芸術大学製作)

1 4. 職員委嘱

(1)	名古屋市資料調査研究会	資料調査研究会調査員	14. 12. 21~21. 3. 31	小池富雄
(2)	福井市	『福井市史』通史編集委員	18. 1. 16~20. 3. 31	志賀太郎
(3)	岡崎市	博物資料収集委員会	18. 2. 23~20. 3. 31	小池富雄
(4)	南山大学人類学博物館	オープンリサーチセンター 研究分担者(文化化資源の公開のための研究)	18. 4. 1~23. 3. 31	〃
(5)	名古屋市東区役所	東区制100周年記念誌編集委員会	18. 4. 1~20. 3. 31	〃
(6)	〃	名古屋市東生涯学習センター協議会委員	18. 5. 15~20. 5. 14	〃
(7)	愛知県	県史編さん委員会特別調査委員(漆工史・工芸史)	19. 2. 1~調査終了時 (1年更新)	〃
(8)	源氏物語千年紀記念事業	「源氏物語千年紀展」企画委員	19. 4. 1~20. 11. 30	四辻秀紀
(9)	愛知県	県史編さん委員会特別調査委員(絵画)	19. 4. 1~調査終了時 (1年更新)	吉川美穂
(10)	犬山城白帝文庫	資料「茶入 驢蹄」調査委員	19. 7. 29	佐藤豊三
(11)	第54回日本伝統工芸展	第1次監査委員(漆工)	19. 8. 7	小池富雄
(12)	妙心寺遠諱局	中部地区妙心寺展アドバイザー	19. 10. 17~展覧会終了時	志賀太郎
(13)	九州国立博物館	買取評価会評価員	19. 12. 7	小池富雄
(14)	〃	〃	20. 3. 18	〃

15. 学会活動

- (1) 漆工史学会 事務局 平成8年より19年7月23日まで
 (2) 私立美術館会議 事務局 平成3年より
 第17回 私立美術館会議 18. 6. 20開催 於サントリー美術館

16. 文部科学省科学研究費補助金による研究

「国宝 初音の調度の総合的研究」 代表 小池富雄 平成19年

[Ⅲ] 展 示

1. 常設展示(第1～6室)

(1) 大名の生活と文化 約1ヶ月毎に展示替
 常設展示入場者数(企画展示期間を除く) 10,796人

(2) 特別公開

千利休 泪の茶杓 20. 2. 23～ 3. 2 第2室

2. 企画展示 (第7～9室)

	(会 期)	(入場者数)
(1) 春季特別展 尾張徳川家初代義直襲封400年記念 尾張の殿様物語 (徳川林政史研究所・名古屋市蓬左文庫・朝日新聞社共催)	19. 4. 14 ～ 5. 27	30,703人
(2) 企画展示 “水”七変化 —デザインされた水の形— (日本経済新聞社共催)	6. 2 ～ 7. 16	20,853人
(3) 企画展示 天下取りへの道 戦国の武将たち (中日新聞社共催)	7. 21 ～ 9. 2	28,086人
(4) 新館開館20周年記念 特別展 修復された宝物 —この20年の歩み— (朝日新聞社共催)	9. 8 ～ 9. 30	12,698人
(5) 新館開館20周年記念 秋季特別展 王朝美の精華・石山切 —かなと料紙の競演— (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・文化庁共催)	10. 6 ～ 11. 4	28,179人
(6) 新館開館20周年記念 特別展 よみがえる源氏物語絵巻 平成復元模写全図一挙公開 (中日新聞社・NHK名古屋放送局・NHK中部ブレイズ共催)	11. 10 ～ 12. 9	26,874人
(7) 特別展 尾張徳川家の雛まつり (中日新聞社共催)	20. 2. 1 ～ 4. 6	61,304人

企画展示入場者数合計 208,697人
 平成19年度総入場者数 219,493人

3. 蓬左文庫展示室

展示室1・2および徳川美術館第5展示室		
	春季特別展 尾張の殿様物語 (名古屋市蓬左文庫・朝日新聞社共催)	19. 4. 11～ 5. 27
展示室 1	城下のお寺 相応寺	5. 30～ 7. 22
展示室 2	絵図・書物にみる熱田の歴史と文化	〃
展示室 1	江戸の中国趣味	7. 25～ 9. 30
展示室 2	城と構造	〃
展示室1・2	秋季特別展 王朝美の精華・石山切 ―かなと料紙の競演― (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・文化庁共催)	10. 3～11. 4
展示室 1	絵手本・雛形 ―近世のイメージ・アーカイヴ―	11. 7～12. 9
展示室 2	駿河御讓本	〃
展示室 1	大名家の儀礼	20. 1. 4～ 2. 17
展示室 2	尾張藩士の世界 ―系図と分限帳―	〃
展示室 1	姫君のよそおい	2. 20～ 4. 6
展示室 2	大名屋敷	〃

4. 「大徳川展」(東京国立博物館、徳川記念財団、徳川黎明会、水府明徳会、テレビ朝日、
博報堂DYメディアパートナーズ 共催) 19. 10. 10～12. 2

5. 巡回展

- (1) 「徳川家の姫君 華麗なる世界 徳川美術館名品展」
(徳川美術館名品展実行委員会(富山県水墨美術館、北日本放送)、徳川美術館・富山新聞社)
富山県水墨美術館 19. 4. 6～ 5. 13
- (2) 「よみがえる源氏物語絵巻」(NHK名古屋放送局・NHK中部ブレイズ・五島美術館共催)
サンリツ服部美術館 19. 6. 7～ 7. 22
- (3) 「華やかな日本刀 備前一文字」(林原美術館・佐野美術館・大倉集古館・徳川美術館・日本経済新聞社共催)
佐野美術館 19. 11. 10～12. 17
林原美術館 20. 2. 23～ 3. 30

6. 特別観覧

	(会期)	(入場者)
(1) 葵茶会	19. 5. 12・13・20	995人
(2) 徳川茶会	19. 10. 7～11. 4(7日間)	2,745人

7. 展示品リスト・キャプション・解説 作成 学芸部共同

8. 古美術相談会

6回開催 8件。この他に写真の郵送、来館などにより計35件の古美術相談を行った。

9. 学芸員実習 8名 19. 7. 25～ 8. 2

[IV] 特別観覧 (敬称略)

(観覧者)	(年月日)	(作品)
(1) 斎藤貞一郎氏 (斎藤織物株) ほか1名	19. 4. 17	金チヨロケンほか1件
(2) 手塚雄二氏 (東京芸術大学) ほか11名	4. 27	源氏物語絵巻 総合 詞1. 2ほか5件
(3) モニカ・コップリン氏 (ドイツ・BASFラッカー博物館)	5. 2	黒漆天目台(尼ヶ崎台)ほか3件
(4) 渡辺妙子氏 (佐野美術館) ほか1名	5. 10	太刀 無銘 一文字ほか5件
(5) Joyce Denney氏(メトロポリタン美術館)	6. 8	水色地葵紋付丁字小紋小袖ほか2件
(6) 金寅圭氏 (韓国国民大学)	6. 20	井戸茶碗 銘 大高麗ほか7件
(7) 手塚雄二氏 (東京芸術大学) ほか11名	6. 27	源氏物語絵巻 柏木1 詞1. 2ほか5件
(8) 北村昭斎氏 (漆工史学会理事) ほか14名	6. 27～28	初音蒔絵厨子棚ほか4件
(9) 伊波栄一氏 (海洋博覧会記念公園管理財団) ほか6名	8. 30	朱漆花鳥七宝繫密陀絵沈金御供飯
(10) 手塚雄二氏 (東京芸術大学) ほか10名	8. 31	源氏物語絵巻 柏木1 詞1. 2ほか5件
(11) 手塚雄二氏 (東京芸術大学) ほか8名	10. 30	源氏物語絵巻 柏木1 詞1. 2ほか2件
(12) カーン・トリン氏 (ニューサウスウェールズ州立美術館)	10. 31	戸山御庭之図ほか4件
(13) 佐藤香代氏 (大分県立先哲史料館) ほか1名	11. 28	阿蘭陀人殺生図
(14) 手塚雄二氏 (東京芸術大学) ほか8名	11. 28	源氏物語絵巻 柏木2 詞3. 4ほか2件
(15) 福島雅子氏 (東京芸術大学)	20. 1. 22	葵紋付斜取染分小袖

(16) ビンチク・モニカ氏 (ブタペスト工芸美術館)	1. 23	源氏物語蒔絵箔箱ほか2件
(17) 鄭干澤氏 (東国大学大学院)	2. 2	地藏菩薩像ほか2件
(18) 伊波栄一氏 (海洋博覧会記念公園管理財団) ほか6名	2. 5	朱漆花鳥七宝繫密陀絵沈金御供飯
(19) 北村昭斎氏 (漆工史学会理事) ほか14名	2. 6~7	初音蒔絵十二手箱ほか7件
(20) 大沢さつき氏 (小学館「和楽」編集部) ほか2名	2. 20	松竹梅山水蒔絵香棚ほか3件
(21) 志村明氏 (勝山織物㈱) ほか4名	3. 6	白絹裕小袖(丸袖綿無し)ほか2件
(22) 名児耶明氏 (五島美術館) ほか1名	3. 9	一番更紗ほか2件
(23) 木下直之氏 (東京大学大学院) ほか4名	3. 11	神田明神祭礼図巻ほか1件
(24) 植田千佳穂氏 (広島県立歴史博物館)	3. 18	武太夫物語絵巻
(25) 小井川理氏 (彦根城博物館)	3. 20	白絵蓬莱図守袋箱ほか5件

[V] 図書編纂

部 内

- (1) 春季特別展図録「尾張の殿様物語」
- (2) 秋季特別展図録「王朝美の精華・石山切 ―かなと料紙の競演―」
- (3) 尾陽 第四号
- (4) 徳川美術館鑑賞のためのガイドブック (第2回徳川美術館拡充整備基金)
- (5) 「子どものための大名文化体験プログラム」手引書 (平成19年度芸術拠点形成事業)

部 外

- (1) 東京国立博物館「大徳川展」図録
- (2) 巡回展「華やかな日本刀 備前一文字」展 図録

[VI] 収蔵品管理

1. 収蔵品の撮影

部 内

- (1) 「戦国武将」展関係
- (2) 「修復された宝物」展関係
- (3) 「石山切」展関係
- (4) 「桃山・江戸絵画の美」展関係
- (5) 「尾張徳川家の雛まつり」展関係
- (6) 新規購入、修理後作品撮影

部 外

- (1)株式会社S.E.C依頼 (源氏物語画帖)
- (2)熊本県立美術館依頼 (塵体和歌集ほか)
- (3)鎌田純子氏依頼 (賢聖障子図)
- (4)瀬口哲夫氏依頼 (美術館航空写真)
- (5)大徳川展美術委員会依頼 (三蓋傘馬標ほか)
- (6)佐野美術館依頼 (「一文字」刀剣展関係)
- (7)名古屋市博物館依頼 (三傑茶会会記 ほか)

2. 什宝組入

- (1)岡谷家寄贈目録 一冊 19.10.19
- (2)郭子儀図衝立 長谷川雪堤筆 一基 20. 3.31
- (3)老松に鶴・雪中花鳥図衝立 一基 //
- (4)桜に鷹図・芦に鷺図衝立 狩野三圭詮良筆 一基 //
- (5)仙人龍虎図衝立 狩野惟信筆 一基 //
- (6)楽器図衝立 一基 //
- (7)紅葉図衝立 一基 //
- (8)大功記出世隻六包紙 歌川芳虎画 一枚 //
- (9)新板花咲翁替り画 歌川貞房画 一枚 //

3. 収蔵品修理

- (1)普通美術品 修理完了日
 - ①琉球楽器 三線 一棹 19. 9.25
 - ②浮世絵画帖 一帖 20. 1.17 (第2回徳川美術館拡充整備基金)
- (2)基本美術品
 - ①葉月物語絵巻 十二面 19. 5.24 (国宝重要文化財等保存整備費補助金)
 - ②七言二句 徳川家綱筆 一幅 20. 1.17 (第2回徳川美術館拡充整備基金)

4. 購 入

普通美術品

- (1)張府御蔵古墨図取 一冊 沙羅書房 6. 7
- (2)松の徳 葵の賑ひ 六枚続 大書堂 8.21
- (3)五字一行書「忠則無二心」

徳川慶勝筆(附属文書一卷)	一幅	古美術商ウロコヤ	12. 20
(4)芭蕉布行書(未表装) 徳川義直筆	十枚	古裂会	20. 1. 31
(5)東叡山木活字版 妙法蓮華経 普門品	一帖	安土堂書店	1. 25
(6)三十六歌仙色紙貼交屏風 二十曲一隻	ながさか	3. 5(第2回徳川美術館拡充整備基金)	
(7)六々歌仙	一帖	思文閣出版	〃 (〃)

5. 受贈

普通美術品

(1)銅製鉢	一口	伊藤千会子氏	19. 7. 31
(2)源氏物語絵巻 現状模写 宿木二 詞書1・2紙	一面	川瀬伊人氏	11. 29
(3)源氏物語絵巻 現状模写 竹河二 詞書3・4紙	一面	廣瀬貴洋氏	〃
(4)源氏物語絵巻 現状模写 宿木一 詞書1・2紙	一面	木下康平氏	〃
(5)源氏物語絵巻 現状模写 蓬生 詞書1・2紙	一面	永井健志氏	〃
(6)市松人形	二体	中村豊子氏	20. 3. 13
(7)百人一首かるた	一組	〃	〃
(8)百人一首かるた	二組	〃	〃
(9)投扇興	一組	〃	〃
(10)手遊び道具	一揃	〃	〃
(11)御所人形	一体	〃	〃
(12)犬張子	一個	〃	〃
(13)菊折枝蒔絵鏡巢	一合	平松義朗氏	3. 25

[VII] 図書の購入・寄贈

1. 図書は、『東寺宝物の成立過程の研究』、『汎アジアの仏教美術』などの他、『冷泉家時雨亭叢書』（朝日新聞社）、『大東急文庫善本叢刊』（汲古書院）などの継続により、計280冊を購入。また、『柳澤孝 仏教絵画史論集』（東京文化財研究所）、『描かれた大坂城・写された大阪城』（大阪城天守閣）、『日本・中国の書』（黒川古文化研究所）など計1426冊の寄贈を受けた。
2. 雑誌は、『國華』、『佛教芸術』、『美術史学研究』（韓国美術史学会）、『文物』、『故宮學術季刊』などの定期購読のほか、計261冊を購入。また、『茶道の研究』、『刀剣美術』、『美術研究』、『MUSEUM』ほか多数の寄贈を受けた。

(b) 企画情報関係

[I] 展示普及

1. ポスター・ちらし作成 各企画展示ごとに作成

2. ニュースレター作成

(1) 企画展プレスプレビュー

尾張の殿様物語、“水”七変化、天下取りへの道 戦国の武将たち、修復された宝物、
王朝美の精華・石山切、よみがえる源氏物語絵巻、尾張徳川家の雛まつり

(2) 記念講演会、土曜講座、能楽講座、古文書入門講座、夏期講座、定期研究発表会 掲載依頼

(3) 名曲講座、定期研究発表会、記念講演会、臨時休館、あいち子ども芸術大学2007、よみが
える御殿能 掲載依頼

(4) 親と子の甲冑教室、十二単着付教室、夏休み子ども特別企画参加者募集、香袋づくり教
室、ひな御膳 掲載依頼

(5) 徳川園の牡丹、土曜子ども教室、親と子の甲冑教室、夏休み子ども特別企画、ひな御膳、
十二単着付教室 取材願い

(6) 新館開館20周年記念式典、よみがえる御殿能、特別公開「泪の茶杓」 取材願い

3. プレスプレビュー・取材

	年月日	新聞	放送(ラジオ)
(1) 尾張の殿様物語	19. 4. 13	5	4
(2) 水七変化	6. 1	9	3
(3) 端午の節供 特別企画「親と子の甲冑教室」	5. 5	1	1
(4) 天下取りへの道 戦国の武将たち	7. 20	4	2
(5) 夏休み子ども教室	8. 1	0	1
(6) 修復された宝物	9. 7	3	2
(7) 王朝美の精華 石山切	10. 5	3	2
(8) よみがえる源氏物語絵巻	11. 9	2	2
(9) 尾張徳川家の雛まつり・ひな御膳	2. 1	7	5
(10) 千利休 泪の茶杓	2. 24	0	1

4. 雑誌PR(掲載誌) 各企画展を2ヶ月前にPR。
- ・美術関係 芸術新潮 新美術新聞 ほか
 - ・婦人雑誌 和楽 家庭画報 婦人画報 ほか
 - ・歴史関係 歴史研究 ほか
 - ・その他 なごみ 茶道雑誌 ぴあ サライ ほか

5. 広告掲載

中日新聞社1件、朝日新聞社10件、日本経済新聞社2件、御園座パンフレット、キラッ都ナゴヤ、名古屋アートニュース、名古屋市交通局(地下鉄)、名鉄・JR東海の車内ポスター吊り広告、地下鉄構内ポスター掲示、日本通運名古屋支店屋外広告

[II] 印刷物・刊行物・映像 作成・配布

1. 徳川美術館 パンフレット 作成

2. 割引券・年賀状・招待券作成

招待券

通年割引優待券

厚生年金割引優待券

夏休み子ども特別企画(「天下取りへの道 戦国の武将たち」)家族割引券

年賀状

3. 優待券作成

一般 賛助会 友の会

4. 美術館たより「葵」の作成 3件

第63号 7月15日発行
エッセイ「徳川義宣さんとの出会い」 古美術鑑定家 中島誠之助氏

第64号 10月1日発行
エッセイ「世界に誇るべき日本の美学」 デザイナー 山本寛斎氏
「新館開館二十周年に寄せて」 館長 徳川義崇

第65号 2月1日発行
エッセイ「私にとっての至福の時間」 NHKアナウンサー 石澤典夫氏

5. 視聴覚設備の更新にともなうビデオライブラリーの新規作成(第2回徳川美術館拡充整備基金)

[Ⅲ] 催 事

1. 講演会	19. 4. 14、10. 6	2回
2. 定期研究発表会 第51回、第52回	19. 6. 30、20. 2. 9	2回
3. 土曜講座「大名の生活と文化」	19. 4. 21～20. 3. 8	10回
4. 夏期講座「大名家の茶の湯」	19. 8. 21～ 8. 23	5枠
5. 能楽講座「尾張徳川家の能」テーマ：通小町	19. 4. 7、5. 12、6. 9、8. 11	4回
6. 古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」	19. 6. 23・30、7. 7・14・21・28	6回

7. 名曲講座

(内 容)	(年月日)	(入場者)
(1) 竹内功&平田文 ジョイント・コンサート (中日新聞社共催)	19. 9. 30	130名
(2) ヴァレリー・アフアナシエフ スペシャルレクチャー (しらかわホール共催)	11. 30	120名
(3) アルベルト・スコッチ&三輪郁 チェロで奏でる国宝 源氏物語絵巻 (名古屋ウィーン・クラブ共催)	12. 1	150名

8. 東邦コミュニティカレッジ 共催講座

「畑儀文さんと楽しむ足踏みオルガンと日本のうた」 19. 6. 10・17・24

9. 特 別 企 画

(1) 端午の節供 特別企画

親と子の甲冑教室'2007 19. 5. 5 8組 のべ来場者 500名
一般来館者も甲冑や鉄砲に触れる体験コーナーを設置、好評であった。また当日は小中学生入館者無料とした。

(2) 徳川義直襲封400年記念・徳川美術館新館開館20周年記念

よみがえる御殿能 —徳川美術館能面・装束と初代義直愛用の菟田の鼓と笛蟬折の音色—
(主催:徳川美術館・藤田六郎兵衛 龍吟の会・名古屋市文化振興事業団(名古屋能楽堂)・名古屋市)
於名古屋能楽堂 19. 11. 1

(3) ミットランドスクエア スカイプロムナード壁面展示

「徳川慶勝写真展」 19. 12. 1～20. 3. 31

(4) あいち子ども芸術大学2007

「日本の香り-源氏物語絵巻からイメージする香袋をつくる-」 12. 8

(5) 中部国際空港 セントレア イベント

雑まつり展のPR・貝あわせ・子ども出世すごろく 20. 1. 19・20

- (6)「尾張徳川家の雛まつり」記念企画
十二単着付教室(2回) 来場者約900名 20. 3. 1
- (7)「尾張徳川家の雛まつり」記念企画
オリジナル 香袋・文香をつくる 3.15

10. 賛助会・友の会見学会 (1泊2日)

第39回 東京国立博物館「大徳川展」と六本木の新たな美術館めぐり 19.10.11～12

[IV] 教育普及活動

1. 土曜子ども教室 19.4.7～20.3.29 45日実施 子ども 1,001名・大人522名 合計1,523名参加
毎週土曜日、小中学生を対象に「土曜子ども教室」を実施。一日三回各約60分。美術の紹介、「今月のポイント」(月替わりで収蔵品を紹介)、「体験タイム」(月替わりで大名文化を体験)、常設展展示室での展示解説。

今月のポイント	4月：刀と太刀「刀は美しい！」	5月：尾張徳川家の殿様
	6月：鉄砲伝来	7月：茶碗のいろいろ 茶の湯
	9月：能面・小鼓	10月：和紙の美しさ
	11月：巻物-源氏物語絵巻	12月：大名とお正月
	2月：お雛さまのいろいろ	3月：お姫さまのよそおい

体験タイム	4月：刀バラバラ体験	5月：手紙と花押
	6月：火縄銃にふれる	7月：茶碗のいろいろ
	9月：能面・小鼓	10月：美しい紙を作る
	11月：ミニ源氏物語絵巻づくり	12月：子ども出世すごろく
	2月：貝あわせで遊ぼう	3月：琴にふれる

2. 夏休み子ども特別企画

名古屋市立小中学校ほかに割引券配布		420,000枚
「天下取りへの道 戦国の武将たち」ギャラリー・クイズ	8. 1～8.31	2,101名
小中学生の歴史教室「戦国時代」	〃	990名
歴史体験教室「作って遊ぼう貝あわせ」	〃	919名
〃 「兜づくり教室」	8.20・21	21組84名

学生ボランティア ギャラリー・クイズに9名、歴史教室に3名、貝あわせ8名が参加。

3. 体験学習受け入れ

5月16日・18日実践女子学園中等部修学旅行320名、6月13日名古屋市日吉小学校40名、ほか貝あわせ、刀バラバラ、子ども出世すごろくなどの体験後、館内見学。
8月28・29日松蔭高校新任教諭職場体験を受け入れる。
小中学校の分散学習や質問に対応、44団体が来館した。

4. 体験講座 ー日本の伝統文化にふれるー

- | | | |
|---------|-----|------|
| 1. 聞香 | 14件 | 327名 |
| 2. 貝あわせ | 6件 | 144名 |

[V] 賛助会・友の会

1. 賛助会

(1) 会員状況(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

会員種類	会員数
個人会員	178件(179口)
家族会員	41組(41口)
法人会員	65件(68口)

※家族会員41組中1組は1名増(12,600円増)の1口3名。

(2) 各種行事

- (a) 企画展内覧会 原則として各企画展前日に開催
(b) 新館開館20周年記念式典に招待 平成19年10月5日 135名

(3) 募集 平成20年2月に過去会員を中心に、入会案内を送付。

2. 友の会

(1) 会員状況(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

会員種類	会員数	内 訳		平成18年度からの継続率
		新規	継続	
一般会員	489件(489口)	135件	354件	72%(489件中354件)
情報会員	65件(65口)	20件	45件	69%(65件中45件)

※一般会員489名中6名が半期入会(4,200円)の会員

(2) 募集 平成20年2月に現会員(平成19年度)及び過去会員を中心に、入会案内を送付。

3. 徳川美術館拡充整備基金の会

(1) 募集 平成19年11月に過去の会員、賛助会・友の会会員、及びちらし発送者宛てに再度寄附の案内を送付。

[VI] ボランティアの会

1. 登録者数 310名

2. 展示解説

(1) 平日の解説

(2) 土・日・祝日の展示解説

(3) 土曜子ども教室

(4) 申し込み団体への解説

(a) 概要解説 87件(延べ人数3,275名)

(b) 体験講座(聞香・貝あわせ)－日本の伝統文化にふれる－ 20件(延べ人数 471名)

3. 各種行事

(1) 第一期生20年感謝の会 平成19年12月8日(土) 69名

4. 養成

(1) 研修

①救急救命	講師：名古屋市東消防署 救急係 職員		20. 2. 13・3. 14
②マナー	講師：名古屋東急ホテル CS推進室マネージャー	吉澤みやこ氏	20. 2. 13・3. 14
③話し方	講師：NHK名古屋放送局 アナウンサー	田中孝宜氏	2. 20
④陶磁器	講師：元愛知県陶磁資料館学芸部長	浅田員由氏	2. 26
⑤刀 剣	講師：熱田神宮宝物館 学芸員	福井款彦氏	3. 7
⑥能・狂言	講師：名古屋女子大学 教授	林 和利氏	3. 27

(2) 懇親会 第一期生に20年感謝状を館長より進呈 20. 2. 23 80名

5. その他のボランティア活動

(1) 学芸部・企画情報部手伝い	11名
(2) 特別専任ボランティア	6名
(3) 講座等題字作成	1名
(4) 館内生け花	1名

[VII] その他

1. 展覧会助成金申請

(助成団体)	(受給額)
名古屋市教育委員会 第86回名古屋市文化史教室 夏休み子ども特別企画	180,000円

2. 平成19年度 文化庁 芸術拠点形成事業(ミュージアムタウン構想の推進) 4,370,319円

平成19年6月1日から平成20年3月31日までの「土曜子ども教室」および「夏休み子ども教室」の実施と、「子どものための大名文化体験プログラム」手引書の作成を「文化庁 芸術拠点形成事業」として実施した。

Ⅱ. 処務事項

[Ⅰ] 主な来館者（敬称略）

- 4月 26日 ジェラルド・アルフォンソ・ムジ ブラジル総領事
- 5月 22日 ブルース・ハーウッド ジロング市長夫妻（オーストラリア）
- 5月 31日 柳明桓 韓国大使一行 6名
- 10月 24日 香川県議会議員団一行 17名
- 2月 17日 ジョージ・アイトーニス オリンピア市長夫妻一行 9名（ギリシャ）
- 3月 14日 高円宮妃殿下 一行 6名

[Ⅱ] 第16回徳川美術館運営懇話会

- 【開催日】 平成19年10月19日（金）午後4時30分から5時
- 【開催場所】 徳川美術館 貴賓室
- 【出席委員】 愛知県知事 神田真秋氏、名古屋市長 松原武久氏、名古屋商工会議所会頭 箕浦宗吉氏、名古屋鉄道株式会社相談役 谷口清太郎氏、財団法人徳川黎明会会長・徳川美術館館長 徳川義崇（5名）
- 【欠席委員】 中部経済連合会会長 川口文夫氏、トヨタ自動車株式会社最高顧問 豊田英二氏、中部電力株式会社社長 三田敏雄氏、株式会社三菱東京UFJ銀行名誉顧問 西垣 覚氏（4名）
- 【議事進行】 議題1 委員交代
中部経済連合会会長交代に伴い川口文夫氏が後任委員に、また中部電力からの後任委員に三田敏雄氏の選任が了承された。
議題2 徳川美術館の運営報告等
副館長 山本泰一が平成18年度の事業・収支状況・施設管理状況・館関係情報の報告を行った。ついで18年度の入館者数状況、来館者の拡大、館内改修工事等について質疑応答を行った。

[Ⅲ] 徳川美術館拡充整備基金

第3回拡充整備基金

博物館法による「特定公益増進法人」（通算9回目）の認定（平成19年2月9日付）を受け、平成19年2月9日より平成21年2月8日までの間（2年間）、総額2,500万円を目標に寄附金の募集を実施した。

(1) 寄附金受付業務

寄附金額（平成19年2月9日より平成20年3月31日まで）

法人会員 28 件（ 45.5口） 4,550,000 円

個人会員 263 件（ 1,027.1口） 10,271,000 円

合計 14,821,000 円

(2) 大口寄附者に対する感謝状の贈呈（個人は30口以上、法人は10口以上）

法人会員 サン商事株式会社 東海レディス・プラザ 財団法人坂文種報徳会

個人会員 山田昌子 北野二三子 河野至紀 山口 馨 長澤順子

安藤八郎 松村直美 曾我孝子 寺島久二 山本泰一

加藤みゆき

以上 3団体と個人11名（贈呈日順 敬称略）

[Ⅳ] 来館者の誘致活動

1. 大学メンバーシップへの勧誘

新規加盟 1件 名古屋市立大学

2. 団体シェアアの拡大

① 旅行会社への営業活動（関東、近畿、東海地区の大手旅行社、バス会社74社へ営業）

② 名古屋市内、近郊のロータリークラブ、ライオンズクラブ（78クラブ）に美術館での出張例会開催の企画提案

団体入館者数実績 29,581名（目標：30,000名） 達成率：98.6%

3. 利用促進

(1) 鉄道会社（JR東海、名鉄）へのポスター・チラシによる広報宣伝協力

企画展示「天下取りへの道 戦国の武将たち」、秋季特別展「王朝美の精華・石山切」特別展「尾張徳川家の雛まつり」

- (2) 前売券の販売促進
百貨店友の会（6店舗）2,930枚販売 他、チケットぴあ、ローソンチケット、東海4県の生協で販売実績有り
- (3) 百貨店友の会の見学会実施
* 「国宝 源氏物語絵巻と平成復元模写」展
マツザカヤ友の会（45名） 近鉄友の会（14名） 三越友の会（46名）
* 「尾張徳川家の雛まつり」展
マツザカヤ友の会（54名） 近鉄友の会（35名）
- (4) 鉄道会社主催のウォーキングイベントとタイアップ推進
* 「JRさわやかウォーキング」参加者への来館誘致
11/3実施 実績：50名
3/22実施 実績：50名
* 「名鉄ハイキング」（10/8 開催）参加者への来館誘致 実績：51名
- (5) 夜間貸切利用
11/9 「国宝 源氏物語絵巻と平成復元模写」展の夜間貸切特別内覧会実施
（トヨタ・レクサスオーナー 200名参加）
- (6) 地域との連携（雛まつり展開催期間）
大曽根商店街との連携（各店舗でひな人形の展示、半券提示割引サービスなど）
文化のみち 榑木館との連携（白壁地区のひな人形展示）
瀬戸市観光協会との雛まつり展の連携
◎ 個人入館者数実績 189,912名 （目標：190,000名） 達成率：99.95%

[V] 特別催事

新館開館20周年記念式典

出席者数 470名

平成19年10月5日

[VI] 計画営繕整備

1. 建物・設備管理の中期営繕計画に基づき、短期営繕計画立案と実施

(1) 館内整備実施事項

- 空調冷温水配管取替
- 展示室内調光装置および照明装置取替
- 蓄熱槽状態調査および水槽内配管取替
- 蓄熱槽水取替および槽内清掃
- 中央監視室LAN工事
- 館内消防設備保守工事
- 宝善亭空調設備取替(リース)
- 第7展示室壁付展示ケース内クロス張替および隙間補修工事
- 本館第9展示室自動ドアセンサー取替
- 貴賓室洗面所電気温水器取替
- 空調機中性能フィルター取替
- 本館天井吊り下げ照明配線ケーブル取替
- 本館天井吊り下げ照明耐震調査
- 館内各所照明器具取替

(2) 庭園・茶室整備実施事項

- 徳川茶会を主とする庭園維持管理と餘芳軒・山ノ茶屋「襖」「障子」「畳」修繕
- 東門付近壁沿樹木伐採

2. 備品整備

(1) 購入

- 講堂用ビジュアルプレゼンター取替

(2) 修理

- 宝善亭ダムヴェーダー修理
- ロビー用木製ベンチ補修

3. 諸契約の締結

- 総合管理業務請負契約
- 火災・機械保険契約
- 博物館総合保険
- エレベーター・リフト保守契約
- 学芸事務室コピー機取替リース契約
- 館長室用・学芸事務室用パソコン取替リース契約
- デジタル印刷機、紙折り機取替リース契約

徳川林政史研究所

I. 事業事項

[I] 調査研究

1. 研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
(1) 近世材木商の研究	所 長 竹内 誠	平成11年4月
(2) 江戸の園地政策	副 所 長 深井 雅海	〃 18年4月
(3) 江戸～明治期における林野行政と地域社会	主任研究員 太田 尚宏	〃 18年4月
(4) 近世大名権力の形成と幕藩関係	研 究 員 白根 孝胤	〃 16年4月
(5) 都市近郊山村における林業の展開とムラ社会	筑波大学助教授 加藤 衛弘	〃 12年4月
(6) 上州山村にみる御巢鷹山と山林経営	東京大学史料編纂所教授 佐藤 孝之	〃 19年4月
(7) 近世木曾山における植林事業の展開	非常勤研究生 田原 昇	〃 19年4月
(8) 飛騨幕領における植林政策の展開 —天保期を中心に—	非常勤研究生 高橋 伸拓	〃 19年4月

2. 科学研究費補助金による研究

文部科学省からの科学研究費補助金を受け、下記の研究を実施した。

(1) 特定奨励費

研究事業名 近世・近代における森林管理・活用史研究に関する事業

補助事業の一環として、全国森林管理局史料調査及び森林管理史アーカイブズ調査を行い、今年度は下記の調査を実施した。

・九州森林管理局所蔵史料調査および目録作成	H19. 8. 19～ 8. 23
・中部森林管理局所蔵史料調査および目録作成	H19. 11. 25～11. 29
・東北森林管理局所蔵史料調査および史料写真撮影	H20. 2. 11～ 2. 14
・森林管理史アーカイブズ調査（高山郷土館・岐阜県歴史資料館他）	H20. 3. 9～ 3. 12

平成14年度以来、科学研究費補助金（特定奨励費）の交付を受けて行ってきた全国森林管理局史料調査は、平成19年4月7日付『日本経済新聞』文化欄に「国有林資料 廃棄の恐れ」と題して紹介された。これを契機に、日本学術会議や国会議員などの大きな関心呼び、公文書保存問題に対して熱心に取り組んでいた福田康夫氏が首相に就任したことにより、国有林史料の国立公文書館への全面的な移管に繋がった。この事業の大きな成果である。

(2) 若手研究 (B)

課 題 番 号 17720166
研究課題名 江戸幕府法支配の研究—幕府裁許状の分析を中心に—
研究代表者名 宮原一郎（非常勤研究生）

3. 自主事業による史料調査

八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査 (受託事業)	第1回	H19. 7. 25～ 7. 27
〃	第2回	H19. 10. 10～10. 12

[II] 研 究 発 表

1. 「研究紀要」第42号 平成19年度

- | | |
|---|-------|
| (1) 木曾山における年貢木制度廃止後の漆木植栽策考
—尾張藩の享保林政改革を中心に— | 大崎 晃 |
| (2) 近世木曾山における「新規立林」成立の様相
—百姓控山林と雑木植林に関する一考察— | 田原 昇 |
| (3) 飛騨幕領における植林政策の展開
—天保～嘉永期を中心に— | 高橋 伸拓 |
| (4) 上州山中領における御巢鷹山と山林政策の変遷 (上) | 佐藤 孝之 |
| (5) 成立期の評定所 —十七世紀前半の山論・野論を中心に— | 宮原 一郎 |
| (6) 参勤交代における「万石以上」家臣の身分と格式 —尾張家を中心に— | 白根 孝胤 |
| (7) 東海道筋における尾張藩の「勤王誘引」活動
—「勤王誘引書類」の分析を中心に— | 上野 恵 |

[調査研究活動報告]

- | | |
|--|-----------|
| (8) 国有林史料の保存と活用にむけて
—全国森林管理局所蔵史料調査の全記録— | 徳川林政史研究所編 |
| (9) 全国森林管理局所蔵史料調査の取り組み | 太田 尚宏 |
| (10) 国有林史料の保存経緯と所在調査 | 加藤 衛拡 |
| (11) 官林の直轄化と秋田県 | 成田 雅美 |
| (12) 御料林の形成・展開と木曾地方 | 田原 昇 |
| (13) 九州森林管理局調査と所蔵史料の特徴 | 太田 尚宏 |
| (14) 「国有林史料の保存と活用にむけて」に参加して | 坂本 達彦 |
| (15) 国有林史料の“恒久的保存”実現へ | 太田 尚宏 |

[書評]

- | | |
|-------------------------------------|------|
| (16) 加藤衛拡著『近世山村史の研究—江戸地廻り山村の成立と展開—』 | 西 光三 |
|-------------------------------------|------|

2. 徳川美術館図録 (『尾張の殿様物語』) への執筆協力

- | | |
|--|------|
| (1) 第二章「統治のシステム」のうち
「尾張徳川家の格式」「知行地」「家臣団」「財政」「法令」 | 白根孝胤 |
| (2) 第三章「尾張徳川家の儀礼」のうち
「藩で行われる儀式」「江戸城で行われる儀式」「贈答儀礼」 | 深井雅海 |
| (3) 第四章「殿様の暮らし」のうち「殿様の住宅事情」 | 渋谷葉子 |
| (4) 第四章「殿様の暮らし」のうち「殿様の食事」 | 太田尚宏 |
| (5) [コラム] 「御印帳」—殿様のヘソクリ? | 白根孝胤 |

- | | | | |
|------|-------|-----------------------|----------|
| (6) | 〔コラム〕 | 押し付け養子 | 白根孝胤 |
| (7) | 〃 | 知られざる十五代茂徳の事績 | 藤田英昭 |
| (8) | 〃 | 十四代慶勝の征長構想 | 上野恵・太田尚宏 |
| (9) | 〃 | 激動の幕末を生きた高須四兄弟 | 藤田英昭 |
| (10) | 〃 | 尾張家臣か旗本か 山村甚兵衛と千村平右衛門 | 田原 昇 |
| (11) | 〃 | 殿様的一天 | 太田尚宏 |

3. 研 究 会

- (1) 研究報告会「国有林史料の保存と活用にむけて」（特定奨励費補助事業）（H19. 5. 19）
 主催：林業経済学会・地方史研究協議会・徳川林政史研究所
 共催：林業経済研究所・日本農業史学会
 於 東京大学農学部

国有林史料の保存経緯と所在調査	加藤 衛弘
官林の直轄化と秋田県	成田 雅美
御料林の形成・展開と木曾地方	田原 昇
九州森林管理局調査と所蔵史料の特徴	太田 尚宏
討論	座長 脇野 博

- (2) 第1回研究会〈非常勤研究生研究発表会〉（H19. 8. 10）

江戸時代前期における江戸城の留守体制	小宮山敏和
御守殿と幕府・藩について	吉成 香澄
元禄期加賀前田家における諸大夫年寄の再興とその意義	清水 聡
『香取大祢宜家日記』について	川島 孝一
江戸の町と御場肝煎	山崎 久登
尾張藩の勤王誘引活動と「勤王誘引書類」	上野 恵
安政・文久期の幕政と尾張藩政-両家年寄竹腰正諲の政治的動向をめぐって-	藤田 英昭
江戸城の時刻-土圭之間と時刻の取り方をめぐって-	浦井 祥子
関東取締出役の農民穀所持調査-天保期を事例に-	栗原 健一
幕末期南多摩地域における新田開発の展開	坂本 達彦
尾張藩江戸屋敷の「御長屋」居住者	渋谷 葉子
原胤昭旧蔵資料にみる与力屋敷について	滝口 正哉
慶喜期の将軍「御印判」政策関連史料	西 光三
「江戸」関係往来物について	石山 秀和

- (3) 第2回研究会 （H19. 11. 12）

近世木曾山における「新規立林」と地域社会-雑木植林に関する一考察-	田原 昇
飛騨幕領における植林政策の展開-天保～安政期を中心に-	高橋 伸拓
評定所の成立-近世前期の山論・野論を中心に-	宮原 一郎

(4) 第3回研究会 (H19.12.18)

- 参勤交代における御礼・行装の格式と大名家臣
－尾張家「万石以上」家臣を中心に－ 白根 孝胤
- 尾張藩の「勤王誘引」活動について
－徳川林政史研究所「勤王誘引書類」との関連から－ 太田 尚宏

4. 部 外 発 表

- (1) 江戸のくらしと金銭観 1～3
(金融広報中央委員会広報誌『くらし塾きんゆう塾』1～3号) 竹内 誠
- (2) 彼の人に学ぶ・松平定信 (『朝日生命経営情報マガジン『ABC』2008年3月号) //
- (3) 『徹底比較 江戸と上方』(PHP研究所 監修) //
- (4) 江戸城における消費物資の調達について
(『東京都江戸東京博物館研究報告』第14号) 太田 尚宏
- (5) 徳川宗春の家督相続・官位叙任と幕藩関係
(『近世名古屋 享元絵巻の世界』清文堂) 白根 孝胤

5. 部 外 出 講

- | | | | |
|------------|---------|----|-------|
| (1) 昭和女子大学 | 日本近世史 | 通年 | 太田 尚宏 |
| (2) // | 卒業論文 | 集中 | // |
| (3) // 大学院 | 歴史文化研究B | 通年 | // |
| (4) 慶應義塾大学 | 歴史Ⅰ・Ⅱ | 通年 | 白根 孝胤 |

[Ⅲ] 史料・図書収集整理

1. 所蔵史料の整理・データベース作成

- (1) 尾張徳川家文書(尾二)の再整理を継続し、目録カード作成およびデータ入力を行った(501点)。
- (2) 蟹江鈴木家文書の目録カードを作成した(600点)。
- (3) 石河家文書の目録カードを作成し、データ入力を行った(2,076点)。
- (4) 未整理であった「勤王誘引書類」の整理に着手し、目録カード作成およびデータ入力を行った(749点)。
- (5) 蜂須賀家文書の再整理に着手し、目録細目カード作成およびデータ入力を行った(300件)。
- (6) 徳川林政史研究所収集絵図の再整理に着手し、目録作成を行った(200件)。

2. 研究用史料の写真撮影

原史料の保全および研究のため、以下の史料群に関する写真撮影を実施した。

- (1) 中部森林管理局所蔵史料(デジタルデータ36,000コマ)。

3. 公開講座の成果刊行

平成16年度に実施した第6回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた徳川林政史研究所監修『江戸時代の古文書を読むー文化・文政の世ー』（東京堂出版）を刊行した。

4. 講演・講座

演 目	主 催 者 等	年 月 日	担 当
日本橋と江戸文化	日本橋西ロータリークラブ 創立20周年記念講演	H19. 4. 11	竹内 誠
江戸の地域社会	消防庁幹部職員研修会	4. 20	〃
観光都市・江戸の魅力	文京人懇談会定時総会講演会	5. 9	〃
江戸の暮らしと文化	新潟市民大学講座講演	5. 12	〃
江戸ブームの背景	日本工業倶楽部会員座談会講演	5. 17	〃
再発見・江戸の教育力	第121回長野県 木曾教員総集会講演	5. 19	〃
地名と地域力	全国地名保存連盟講演	6. 6	〃
江戸の遊びごころ	西日本文化協会主催 日本の歴史と文化遊学講座講演	6. 29	〃
江戸時代からのメッセージ	第42回小学校 行事研究全国大会講演	8. 3	〃
博物館・動く	新潟県立歴史博物館 シンポジウム基調講演	8. 26	〃
江戸に学ぶ女性の生き方	和洋女子大学 創立110周年記念講演	10. 7	〃
江戸の食文化	東日本ブロック農業委員会 職員現地研究会講演	10. 12	〃
明日に活かす江戸の知恵と力	大田区制60周年・ 文化の収穫祭記念講演	11. 4	〃
日本橋の歴史と日本銀行	日本銀行市民講座講演	11. 11	〃
狩野文庫の魅力	仙台市博物館 特別展 「東北大学の至宝」記念講演	11. 25	〃
江戸文化を語る	長野県須坂市民学園講座講演	H20. 1. 26	〃
江戸に学ぶ	岐阜県各務原市 シティカレッジ講座講演	2. 9	〃

一橋徳川家と幕府政治	茨城県立歴史館一橋徳川家記念室 開設20周年記念特別展講演	2. 16	＃
古文書を読む 一刃傷松の廊下の記録を読むⅢー	國學院大学栃木短期大学 古文書公開講座(全5回)	H19. 5. 23 ～6. 27	深井雅海
松平定信政権成立の裏事情	國學院大学栃木短期大学 日本史学科学内講座	6. 9	＃
江戸城本丸御殿の空間と儀礼	國學院大學栃木短期大学 公開講座	9. 29	＃
江戸出府日記の世界	群馬県立文書館古文書講座 (公開講座)	H19. 11. 17	太田尚宏
尾張徳川家のお家相続	八雲町町民公開講座	H19. 10. 10	白根孝胤

5. 教育機関等への協力

通常の史料閲覧業務の他、可能な限り教育機関からの調査・見学などに協力した。

6. 案内パンフレットの作成

(1) 閲覧者向け案内パンフレット(A4判二つ折り)平成19年度版を作成した。

7. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを作成し随時更新するとともに、新たに4件の史料目録を一般公開した。

[VI] 図書の収集・整理

1. 図書整理

(1) 昨年度に引き続き図書・雑誌のコンピュータ入力を進め、旧受け入れ図書6冊、新着図書395冊に対し、ラベル貼付、並びに入力作業を行なった。

2. 史料および図書の購入・受贈

(1) 図書は『学習院大学図書館所蔵 丹鶴城旧蔵幕府史料』等163冊を購入。その他寄贈された図書232冊。

(2) 雑誌は『歴史学研究』等203冊を購入。その他寄贈された雑誌683冊。

(3) 史料は『殿居囊』(2点一組)、『大坂武鑑』(1点)を購入。

[Ⅷ] 平成18年度(第41号)研究紀要の寄贈・頒布

印刷部数 700部 内、寄贈・交換 528冊 頒布 62冊

Ⅱ. 処務事項

[Ⅰ] 外部関係

下記の文書を会長名を以って文部科学大臣に提出した。

(1)	科学研究費補助金(特定奨励費)	平成18年度実績報告書	平成19年 4月10日
(2)	〃	平成19年度交付申請書	4月20日
(3)	〃	〃 交付請求書	4月20日
(4)	〃	補助事業実施状況報告書(第1-四半期)	7月10日
(5)	〃	補助事業実施状況報告書(第2-四半期)	10月10日
(6)	〃	平成20年度事業計画調書	11月15日
(7)	〃	補助事業実施状況報告書(第3-四半期)	平成20年1月10日

[Ⅱ] 事業評価委員会

平成20年3月14日、外部委員による事業評価委員会が開催され、林政史研究所の平成19年度事業について評価・講評を受けた。

[Ⅲ] 備品購入

ノートパソコン (パナソニック CF-W7BWHAXS) 1台